

パラグアイ内政・外交報告（1月分）

政治情勢

2019年2月作成

1 内政

（1）アルガーニャ・メルコスール議員，コロラド党総裁選出馬に意欲

23日，アルガーニャ・メルコスール議員（コロラド党・アブド派）がラジオ出演し，2020年6月に実施されるコロラド党総裁選挙に立候補する意欲を示した。現時点で同選挙への公式な立候補者は挙がっていないが，政界では，アブド派からはドウアルテ・ヤシレタ二国間財団総裁（元大統領），オベラル上院議長，ガラベルナ上院議員，フリードマン上院議員の名前が挙がっている。一方，カルテス派からはカルテス元大統領の名前が挙がっている。

2 外交

（1）アブド・ベニテス大統領の伯大統領就任式への出席

1日，アブド・ベニテス大統領は，カスティグリオーニ外相とともにボルソナーロ伯大統領の就任式に出席した。

（2）ベネズエラ情勢

ア ベネズエラとの国交断絶

10日，アブド・ベニテス大統領は記者会見を行い，ベネズエラと国交を断絶する旨を発表した。同日，在ベネズエラ・パラグアイ大使館のレルソ・リケルメ・メンディエタ臨時代理大使が帰国，ムルガ在パラグアイ・ベネズエラ大使が外務省に呼ばれ，バルデス外務省儀典長がパラグアイ政府の決定を伝達した。23日，在パラグアイ・ベネズエラ大使館が閉鎖された。

イ グアイド・ベネズエラ暫定大統領の承認

23日，パラグアイ政府は，グアイド・ベネズエラ国民議会議長のベネズエラ暫定大統領就任を承認した。

（3）誘拐事件被疑者2名に対する「亡命保護」認定の取消しを伯に要請

10日，パラグアイ政府はブラジル政府に対して，2001年に起きた誘拐事件の被疑者2名の「亡命者保護」認定の取消しを公式に要請した。

（4）外相のビリグスリア米国財務次官補（テロ資金供与担当）との会談

14日，カスティグリオーニ外相は，パラグアイを訪問したビリグスリア米国財務次官補（テロ資金供与担当）と会談した。同次官補は，パラグアイの経済安定性，ベネズエラとの国交断絶，越境犯罪及びテロ資金対策の取組を賞賛した。両者は，今後も経済，貿易，財政，あらゆる犯罪の撲滅の分野で協力を密にしてく相互の関心を表明した。

（5）アブド・ベニテス大統領のダボス会議出席

22日，アブド・ベニテス大統領はスイス・ダボスで開催された世界経済フォーラム（ダボス会議）に出席，モレノ・エクアドル大統領，アルバラード・コスタリカ大統領，モ

レノIDB総裁とともにパネルディスカッションに参加し、ベネズエラ情勢及びパラグアイの経済優位性につき述べた。

(6) カスティグリオーニ外相の欧州訪問

ア ジョージアとの外相会談

22日、カスティグリオーニ外相はダヴィト・ジョージア外相と会談し、二国間関係につき意見を交わした。

イ ブラジルとの外相会談

23日、カスティグリオーニ外相は、アラウージョ伯外相と会談し、二国間関係を深化させることで一致し、2月後半にアブド・ベニテス大統領がブラジルを訪問する可能性につき検討した。また、カスティグリオーニ外相は、ブラジルで「亡命者保護」認定を受けている誘拐事件の被疑者2名の、同認定を取り消すよう改めて要請した。

ウ スイスとの外相会談

23日、カスティグリオーニ外相は、カシオ・スイス外相と会談し、両国間の経済関係をより強化することで一致した。両外相は、パラグアイ・スイス商業会議所設立に対して積極的な意見を表明した。また、カスティグリオーニ外相は、経済・貿易関係における相互補完性を前進させるべく、企業団とともに再びスイスを訪問する旨述べた。両外相は、メルコスール-欧州自由貿易連合(EFTA)の交渉促進を継続する旨一致した。

エ 外相とたばこの規制に関する世界保健機構枠組条約(FCTC)事務局長との会談

28日、カスティグリオーニ外相は、ベラ・ルイザ・ダ・コスタ・エ・シルバFCTC事務局長と会談し、「製品の不法な取引の根絶に関する議定書」へのパラグアイの支持、第10回締結国会合及び第3回議定書締結国会合をパラグアイで受け入れる意志を同事務局長へ伝達した。

オ 外相と世界貿易機関(WTO)事務局長との会談

28日、カスティグリオーニ外相は、アゼベドWTO事務局長と会談し、パラグアイが農産品市場へのアクセスを得ること、電子商取引の促進、零細中小企業のための事業の促進、投資円滑化のための枠組、女性のエンパワーメントの模索を望んでいることを明らかにするとともに、貿易円滑化協定に基づきパラグアイにおける国家貿易円滑化委員会を設置している旨強調した。

カ 外相と国際電気通信連合(ITU)事務総局長との会談

28日、カスティグリオーニ外相は、ジャオ(趙厚麟)ITU事務総局長と会談し、パラグアイが内陸国であることを考慮した将来のパラグアイ産の衛星への関心を伝達するとともに、客年10月に情報通信技術省(MITIC)を新設した旨述べた。

キ 国際機関等との会談

カスティグリオーニ外相は、その他以下の国際機関等の代表者と会談した。

(ア) 世界知的所有権機関(WIPO)

(イ) 国際労働機関(ILO)

(ウ) 国際貿易センター (ITC)

(エ) 欧州原子核機構 (CERN)

3 要人往来

(1) 来訪

- レデベフ・露連邦最高裁判所長官 (公式訪問)

(2) 往訪

- アブド・ベニテス大統領, 伯・ブラジリア (ボルソナーロ新伯大統領就任式出席)
- バシガルポ労働相, 独・ボン (職業訓練所視察)
- ペラルタ通信相, ロペス財相, ペッタ教育相, ウルグアイ・モンテビデオ (ウルグアイ電子政府・情報社会機構 (AGESIC) 視察)
- サギエル外相代行 (筆頭外務副大臣), 伯・ブラジリア
- アブド・ベニテス大統領, カスティグリオールニ外相, ロペス財相, スイス・ダボス (ダボス会議出席)
- ロメロ女性相, チリ・サンティアゴ (第58回ラテンアメリカ・カリブ女性に関する地域フォーラム出席)
- カスティグリオールニ外相, スペイン・マドリッド (ダボス会議関連会議出席の途次)
- カスティグリオールニ外相, スイス・ジュネーブ (ダボス会議関連会議出席の途次)
- オベラル国会議長, 台湾・台北 (招聘)